

ご 注 意

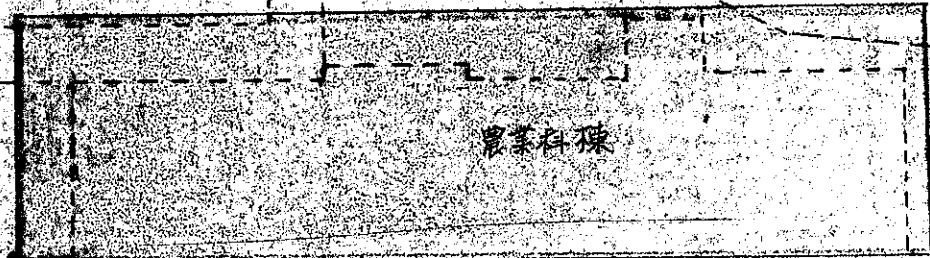
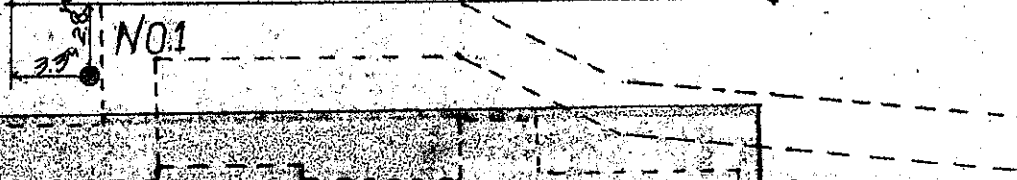
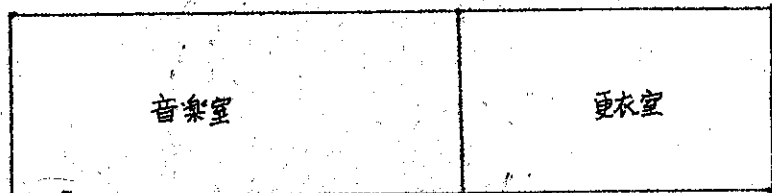
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

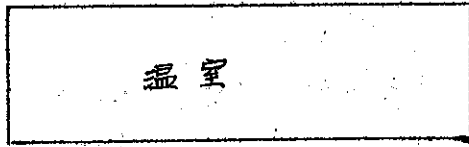
ホールディング位置図 1/300



NO.2

NO.4

NO.3



ボーリング番号		No. 1								備考											
調査名		馬頭高校特別普通教室新築工事に伴う地質調査																			
調査場所		栃木県那須郡馬頭町																			
調査年月日		昭和50年7月7日～昭和50年7月8日																			
標高					基準																
ボーリング工法		標準貫入試験併用JTB-リグ			現場技術者																
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	孔内水位 (m)	層厚 (m)	試料採取位置 (m)	土質記号	土質名	色調	記事	コンステンション 相対密度および	標準貫入試験										標尺 (m)
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数								
10	20	30	10	20	30	40	50														
0									0~0.5 玉目混雑												0
1		1.45		1.45		X	盛土	暗灰	1.3m 中砂混入		1.15	2	1	1							1
2						〰〰〰			~2.3m 木根混入 小石混入		46	3	1	1							2
3						〰〰〰			~3.0m 浮石混入		2.15	4	1	2	1						3
4		3.90		2.45		〰〰〰	ロ-A	茶褐	含水比小		50	3	5	1	6						4
5						○●△			Φmax 40%		3.15	6	2	2	2						5
6						○●△			含水比小 所々凝灰質粘土 互換		45	2	8	9	9						6
7		6.90		3.00		○●	砂礫	暗黄灰	礫は亜円角状		45	3	10	1	1	9					7
8						〰〰〰			破碎風化凝灰 礫を連し所々 凝灰し未砂化 （このPTあり）		6.15	5	3	3	3						8
9						〰〰〰	岩盤 (頁岩)				7.15	3	1	2	9	1					9
10		10.10		3.20		〰〰〰		暗灰			8.15	2	5	5							10
						〰〰〰					9.10	5	5	5							
						〰〰〰					10.05	5	5	5							
						〰〰〰					10	5	5	5							

U 不攪乱試料採取
D 攪乱試料採取

ボーリング番号		16.2								備考														
調査名		馬頭高校特別普通教室新築工事に伴う地質調査																						
調査場所		栃木県那須郡馬頭町																						
調査年月日		昭和50年7月9日 ~ 昭和50年7月11日																						
標高						基準				U 不攪乱試料採取 D 攪乱試料採取														
ボーリング工法		標準試験用コアボーリング				現場技術者																		
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	相 対 密 度 コンステンション および	標準貫入試験										標尺 (m)			
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数			10	20	30	40	50				
0																								
1		1.80		1.80			盛土	黒灰	上部20cm 中30~40% 砂礫混入し 1.4m付近に木根あり	1.15	3	1	1	1										1
2							ロ-4	暗褐	全般に少量の汚石 及び小石混入	2.15	2	1	1	1										2
3		3.30		1.50					3.40mで若干シルを混 入し、重円中max40%	3.15	26	6	10	10										3
4							砂礫	暗褐	含氷比小	4.15	27	9	10	8										4
5		5.10		1.80			砂礫	黄褐	小石を所々混入	4.15	4	2	1	1										5
6		5.52		0.42			砂礫	黄褐	重円礫主体中max40%	5.15	52	37	17											6
7		6.80		1.28					全体的に粘土を 挟む 破碎風化激しく 角状粒になる	6.15	25	10	9	6										7
8										7.10	50	50												8
9										8.10	50	50												9
10		10.16		3.36			岩盤 (頁岩)	黒灰		9.10	50	50												10
11										10.10	50	50												11
12										16	6	6												12
13																								13
14																								14
15																								15
16																								16
17																								17
18																								18
19																								19
20																								20

ボーリング番号										備考												
No. 4										U 不攪乱試料採取 D 攪乱試料採取												
調査名										馬頭高校特別普通教室新築工事に伴う地盤調査												
調査場所										栃木県那須郡馬頭町												
調査年月日										昭和50年7月14日 ~ 昭和50年7月15日												
標準貫入試験用ボアホール					現場技術者																	
標尺 (m)	標高 (m)	深 度 (m)	孔内水位 (m)	層 厚 (m)	試料採取位置 (m)	土 質 記 号	土 質 名	色 調	記 事	相対密度およびコンステンション	標準貫入試験										標尺 (m)	
											貫入深度 (m)	N 値	10cm毎の打撃回数			10	20	30	40	50		
0		0.25		0.25			砂土	暗灰	全層に砂 砂土		1.15											0
1									全般に珪石混入 小片挟む		51	36	12	12	12							1
2		2.35		2.10			ロ-4	黄褐	1.8M付近で漏水あり		2.15	9	3	3	3							2
3									$\phi_{max} 60\%$ 垂円及び角片		45											3
4									主体		3.15	23	6	8	9							4
5									6.4M付近で珪石を採取		4.15	31	10	11	10							5
6											4.5	33	9	10	14							6
7		6.80		4.45			砂礫	黄灰			6.15	50	23	17	10							7
8									全体に亀裂多 密着弱 角片状になる		7.15	50	50									8
9											7.5	19	4	4								9
10		10.17		3.37			岩盤 (稜岩)	暗青灰			8.15	50	23	28								10
11											9.10	20	13	3								11
12											10.10	50	50									12
13											10.10	17	7	7								13
14																						14
15																						15
16																						16
17																						17
18																						18
19																						19
20																						20